

V

公民館運営審議会のあゆみ

Handwritten text, possibly a title or header, centered on the page.

V 公民館運営審議会のあゆみ

はじめに

公民館運営審議会(以下「公運審」)は、住民の意思を公民館の運営や事業に反映させるために、館長の諮問機関として、社会教育法第29条で「公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するもの」として必置されている。このように法的に住民参加が保障されている例はきわめて稀であり、社会教育法の改編がささやかれる中、社会教育における住民参加と住民自治を守り育てていく上で、公民館における公運審の役割は大きいものがある。

10年のあゆみ

当市公運審は昭和52年の公民館開館と同時に発足するが、56年10月までは社会教育委員の兼任であった。それが昭和55年に公民館3館体制が整うなかで、公民館事業も飛躍的に増大し、それにともない公運審委員も昭和56年10月、社教委員との兼務から独立し、より活発な活動へと展開していった。

しかしながら、人数的にみると社教委員との兼務時10名であった委員が、独立時は8名となる。その選出分野は、1号委員学校長1名、2号委員5名、内訳は婦人団体、PTA連合会、文化連盟、社会福祉協議会、青年団体で、3号委員学識経験者2名となっていた。そして、その任期は社教委員の残任期と同じとされたため、57年10月までの1年間であった。

しかし、その1年間の中で独立公運審としての大きな仕事が待ちうけていた。議会質問に端を発した公民館幼児室予算凍結問題(詳細は「幼児と公民館」)により、昭和57年5月1日の昭和57年度第1回公運審の席上、「福生市公民館における幼児教室の実施について」諮問を受ける。その求められた内容は、1.公民館における幼児教室の必要性の是非について 2.公民館における幼児教室のあり方について 3.公費負担の範囲についてであった。早速、慎重な審議がくり返され、答申までの3カ月半に9回の公運審会議がもたれた。そのうち、市民意見の聴取が2回で、1回は実際に幼児教室に関係している10サークルの代表からの声を求め、もう1回は子供を育てあげた立場の婦人有識者5名の意見であった。このように、利用者や市民の声に耳を傾けながらの答申作成であった。そして、8回の審議を経て、8月14日の昭和57年度第9回公運審会議の席上、館長に答申(資料編)を成し得た。これによって、後に予算凍結は解かれ、今日のような幼児室事業の興隆を見るにいたっているのである。

答申直後の10月、任期満了により改選がおこなわれ、この時点で松林・白梅両分館の代表2名を加え10名となる。選出母体の変更がこの時点であり、婦人団体から商工会へと、また社会福祉協議会から高齢者事業団へとなる。

公運審委員の選出方法としては、1号委員は校長会へ、2号委員青年団体は青年団体連絡協議会へ、PTAは小中学校PTA連合会へ、文化連盟は福生市文化連盟へ、商工会は福生市商工会へ、高齢者事業団は福生市高齢者事業団へ各々推薦依頼をし推薦を受ける。分館代表については、各々利用者交流会の席上互選によって決まる。また、学識経験者においては館長により決定される。

また、公運審の研修については、毎年数回の東京都公民館連絡協議会の委員部会研修があり、毎回数名ずつが参加している。これとは別に、公運審として他市の公民館運営を学ぶために、昭和60年度より年1回、視察の機会が設けられ、これも恒例化してきている。

おわりに

福生の公運審10年の歴史は、まさしく公民館の10年の歴史と重ねあわされるものである。公民館事業の発展とともに社教委員から独立し、さらに幼児教室予算凍結問題にゆれる公民館の苦しい時代に、まさしく公民館での市民の学習活動を守り育てるために、踏んばり通していった。この10年の間に44名の委員を経て、利用しやすい公民館を求め、市民の声を公民館へ伝え続けてきた公運審。そして、その活動のエネルギーを支え続けてきたのは、やはり市民の活動の熱意であったであろう。

今後も市民に開かれた公民館であり続けていくためには、この制度的な住民参加の場である公運審の場を守り続けていかなければならないであろう。

公。うんしんおばさんだより

これは白梅分館初代公運審委員佐久間登世子氏により、その選出母体である白梅分館利用者、ひいては、市民と公運審とをつなぐ目的で、昭和58年1月より61年9月まで、独自に178号にわたり出し続けられたものである。（資料編参照）

うんしんおばさんだより

佐久間 登世子

『うんしんおばさんだより』この妙な名のたよりの1号を、私が白梅分館の公運審を仰せつかってすぐ出しました。分館から1名、初代という条件の良さに甘えさせてもらったのです。

公民館のサークルにはいってはいたものの、その定義も理論も意識の外にありました。それが体を通して展開したいなにかを意識下に蓄えるようになったのは、公民館で出会った人の力の大きさに気づいたことが根底にあります。

白梅に出入りするようになって、一層それを感じました。

この町に公民館ができて10年、分館はさらにわずかの歴史しかありません。けれど、この分館に集う仲間の結びつきの強さには、失礼ながら専門職として配置された公民館主事さんにすら一朝一夕にしては見ぬけない、この地域が脈々と培ったきびしさとあたたかさがひそんでいたのです。

わたしたちは、それらを本当にいとおしく、ほれぼれと見つめなおし、見つめなおしながら『公民館ってこういうものみたいよ』『どういう使い方がいい?』『そうそう、この間の公運審の会合でこんな話が出たのよ』と、たよりに書きました。

テーマや知らせたいことは、次から次へといくらでもありましたし、部屋いっぱいひろげたたよりに、読んでくださる誰かを想いながら、手を加える作業は、それこそ楽しいものでした。そのころ私を支配していたのは、—白梅を誰よりも熟知していたい—という強いおもい入れだったように思います。お陰様でこれを通じて沢山のホットでやさしい人々との結びつきも生まれました。このネットワークを今後どう広げ生かしていくかが、私を含めて皆の底力につながると思っています。

今日も公民館では、すばらしい資質の主事さん方が、暮らしをひらき自活の力を高める期待を担ってがんばっています。

公民館での出会いや、学びが本物である限り、住民がしっかりつながっていく要としての公民館は、限りない可能性で輝いて、私たちが魅きつけて離さないに違いない。

多くの励ましに支えられ、178号までたよりを続けられた感謝を含めて、さらにこのおもいを強くしているところです。

公民館運営審議会会議内容

昭和52年度

第1回 52. 9. 28(水) 公民館

- 正・副委員長選任

委員長 田中貞雄氏

副委員長 高山君子氏

- 公民館組織について
- 昭和52年度事業方針及び計画について
- 公民館運営状況について

第2回 53. 3. 29(水) 公民館

- 昭和53年度公民館管理運営計画について

昭和53年度

第1回 53. 4. 21(金) 市内

- 市内社会教育施設見学

第2回 53. 10. 20(金) 公民館

- 正・副委員長選任

委員長 田村匡雄氏

副委員長 高山君子氏

- 社会教育委員連絡協議会研修会について

第3回 54. 3. 26(月) 公民館

- 昭和54年度会館管理運営計画について

昭和54年度

第1回 54. 5. 31 (木) 松林分館

- 松林分館事業開始及び職員の事務分担について

- 昭和54年度第1回半期主催事業について

- 東京都公民館連絡協議会報告
- 公民館保育室の運営について
- 公民館専用掲示板の設置について
- 公民館資料室の貸出しについて

第2回 54. 7. 30 (月) 公民館

- 第2四半期主催事業について
- 市民会館主催事業、今年度の計画について

- 昭和54年度都公連運審部会報告

第3回 55. 1. 20 (水) 市民体育館

- 熊川中央学供現況報告
- 第4四半期主催事業について
- 第18回東京都公民館大会について

昭和55年度

第1回 55. 4. 3 (木) 中央図書館

- 市民会館、公民館管理運営計画について
- 白梅分館事業開始及び職員の事務分担について

第2回 55. 5. 30 (金) 公民館

- 会館管理運営計画について
- 公民館主催事業について
- 市民会館主催事業について

第3回 55. 7. 14 (月) 公民館

- 正・副委員長選任(委員長辞任に伴う)

委員長 高山君子氏

副委員長 並木信一氏

- 公民館・市民会館の事業及び利用状況

第4回 55. 11. 7 (金) 市民体育館

- 改選による正副委員長選任

委員長 高山君子氏

副委員長 並木信一氏

- 東京都公民館連絡協議会報告

- 公民館主催事業について

- 市民会館主催事業について

- 第19回東京都公民館大会について

第5回 56. 2. 26 (木) 市民体育館

- 昭和56年度公民館事業計画について

昭和56年度

第1回 56. 4. 24 (金) 市民体育館

- 会館管理運営計画について

公運審委員・社教委員より独立

(56. 10)

第2回 56. 10. 28 (水) 公民館

- 正・副委員長選任

委員長 宮岡一雄氏

副委員長 志村 立氏

- 公民館主催事業について

第3回 56. 11. 21 (土) 公民館

- 昭和57年度公民館事業について
- 第20回東京都公民館大会について

第4回 57. 2. 13 (土) 福祉会館

- 公民館の幼児教室(公民館保育室)の現状について

- 公民館のつどいについて

- 公民館主催事業について

第5回 57. 3. 27 (土) 公民館

- 昭和57年度会館管理運営計画について

- 公民館長の任命に関する意見聴取について

昭和57年度

第1回 57. 5. 1 (土) 公民館

- 「幼児教室の実施について」諮問

- 都公連通常総会の報告

第2回 57. 5. 15 (土) 公民館

- 諮問案件についての追加資料の説明と審議

第3回 57. 5. 29 (土) 公民館

- 諮問案件についての追加資料の説明と審議

第4回 57. 6. 12 (土) 公民館

- 諮問案件についての市民意見聴取と審議

第5回 57. 6. 26 (土) 公民館

- 答申までの今後の運営について

第6回 57. 7. 10(土) 公民館

- 諮問案件についての市民意見の聴取と審議
- 都公連委員部会報告
- 公民館大会の参加について

第7回 57. 7. 24(土) 公民館

- 諮問案件について審議・答申書(案)作成

第8回 57. 7. 30(土) 公民館

- 答申書(案)の作成

第9回 57. 8. 14(土) 公民館

- 答申書の最終決定
- 答申書提出

第10回 57. 11. 12(金) 公民館

- 改選にともなう委員長選任
委員長 田村征利氏
- 昭和57年度事業計画について
- 公民館運営審議会について

第11回 57. 12. 22(水) 公民館

- 副委員長の選任
副委員長 中本 勇氏
- 昭和58年度公民館事業について

第12回 58. 3. 24(木) 公民館

- 昭和58年度公民館管理運営計画について
- 昭和58年度公民館予算について

昭和58年度

第1回 58. 7. 16(土) 公民館

- 公民館の利用の現状
- 「公民館のつどい」について
- 都公連委員部会報告

第2回 58. 10. 29(土) 公民館

- 昭和59年度公民館事業計画について
- 都公連委員部会報告

第3回 59. 1. 26(木) 公民館

- 昭和59年度公民館事業計画について

第4回 59. 3. 1(木) 公民館

- 昭和59年度会館管理運営の計画について

第5回 59. 3. 23(金) 公民館

- 昭和59年度会館管理運営計画について
- 公民館長の任命に関する意見聴取について

昭和59年度

第1回 59. 7. 5(木) 公民館

- 講師派遣制度について

第2回 59. 8. 29(水) 公民館

- 講師派遣制度について

第3回 59. 9. 29(土) 公民館

- 昭和59年度上半期主催事業実施について

第4回 59. 10. 8(月) 公民館

- 改選にともなう正・副委員長選任

委員長 田村征利氏

副委員長 木内倉吉氏

第5回 59. 11. 8(木) 公民館

- 昭和59年度上半期主催事業実施状況について

第6回 59. 2. 5(水) 公民館

- 昭和60年度公民館事業計画について

第7回 60. 3. 1(金) 公民館

- 昭和60年度公民館管理運営計画(案)について

昭和60年度

第1回 60. 6. 14(金) 公民館

- 昭和60年度上半期主催事業実施状況について

第2回 60. 8. 14(水) 公民館

- 公民館調査について

第3回 60. 9. 20(金) 公民館

- 公民館調査について

第4回 60. 11. 29(金) 公民館

- 昭和61年度公民館予算について
- 相模原市公民館視察について

第5回 60. 12. 7(土)

- 相模原市公民館視察
(大野中公民館、光が丘公民館)

第6回 61. 2. 28(金) 公民館

- 昭和61年度社会教育計画について

昭和61年度

第1回 61. 5. 29(木) 公民館

- 昭和61年度上半期主催事業について

第2回 61. 7. 11(金)

- 視察

コミュニティセンターじゅらく苑

(羽村町)

河辺市民センター (青梅市)

第3回 61. 9. 19(金) 公民館

- 公民館調査について

- 展示室の有効利用について

第4回 61. 10. 13(金) 公民館

- 改選にともなう正・副委員長の選任

委員長 田村征利氏

副委員長 木内倉吉氏

第5回 61. 12. 5(金) 公民館

- 昭和62年度公民館予算について

第6回 62. 1. 19(月) 公民館

- 第25回東京都公民館大会について

第7回 62. 3. 4(水) 公民館

- 昭和62年度社会教育計画について

第8回 62. 3. 24(火) 商工会館

- 昭和62年度予算について

- 公民館長の任命に関する意見聴取について

附 錄